

## 家事力と稼ぎ力のバランスをとるには「収入の増加」が1位！2位以下は？

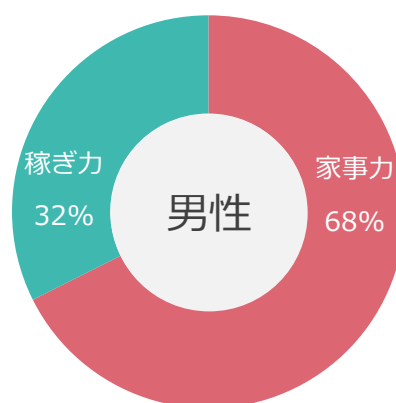
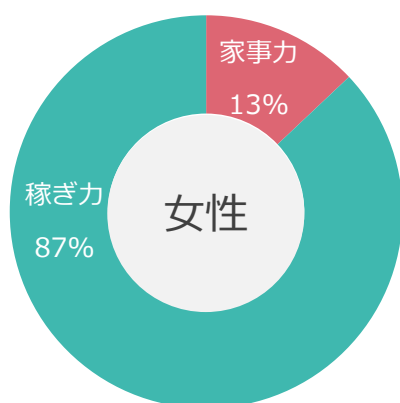
～フリーキャリア総研「パートナーに求める家事力と稼ぎ力」調査～

国内最大級のドロップシッピングサービスとアフィリエイトサービスを運営する株式会社もしも（代表取締役：実藤裕史。以下、もしも）は、フリーキャリアの人たちの実態調査を行う調査期間「フリーキャリア総研」を2015年4月14日に公開しました。第1回目は「パートナーに求める家事力と稼ぎ力」について調査を行い、これからの働き方について探りました。詳細な調査結果は下記の通りです。

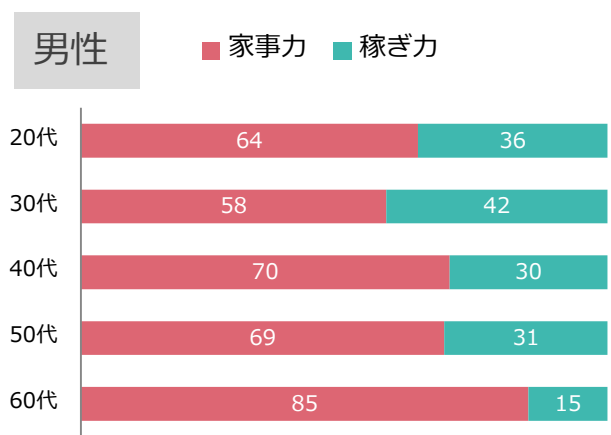
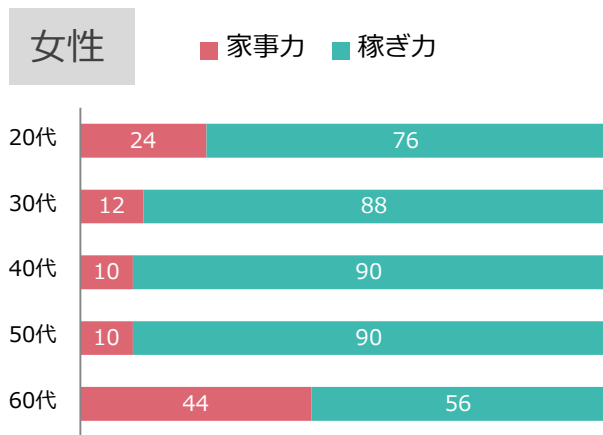
- 調査背景：現在共働き世帯は1,000万世帯を超え、2005年より年々増加しています。共働き世帯が増加するにあたり、これまでの“家庭のあり方”が変化し「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えは古い。と言われるようになりました。そこでパートナーに求めるものについて実態調査を実施しました。
- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2015年3月9日～3月17日
- 有効回答：643名（男性：426名、女性：216名）

### 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」が理想と考えつつも、現実とのギャップ！

Q1. パートナー（結婚相手）に求めるものは主に「家事力」と「稼ぎ力」のどちらですか？



女性は90%程の人が「稼げ力」と回答し、男性は70%程の人が「家事力」と回答をしました。「家庭を守ってもらうことで、安心して仕事ができる」「お金があればある程度の問題が解決するから。」「家族を支える大黒柱はやはり夫であってほしい」など、【夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである】と考える人が多くいることがわかります。ところが、世代別に見てみると様々な状況を伺うことができました。



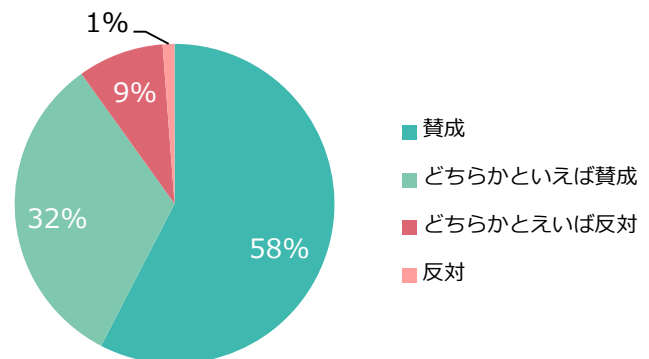
多くの方が【夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである】と考える一方で、60代女性の半数ほどが「家事力」と回答しており、定年を超えたパートナーに家事の分担をお願いしたいと考える人が多くいることがわかりました。

また20代では男女共に【夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである】が理想と考えつつも、現実的には「共働きでなければ家計が成り立たない」「1人の給料では不安」という声が多く見受けられました。若い世代になる程、共働きが当たり前と考え、理想と現実の間にギャップがあることが伺えます。

## 「女性の社会進出」と「男性の家庭進出」を同時に解決していくべきとの声が多数！

### Q2. 女性の社会進出について、どう考えますか？

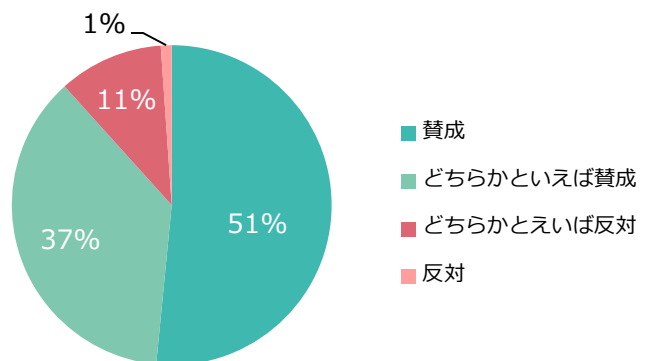
女性の社会進出について58%の人が「賛成」、32%の人が「どちらかといえば賛成」と回答し、90%以上が賛成意見を持っていました。「性別に関係なくチャンスがあれば挑戦すべき」「日本の生産力があがるから」という声と共に「女性の方が仕事能力が高い」「女性の感性はサービスを向上させる強みである」という女性のチカラを活用すべき声も多く見受けられました。



### Q3. 男性の家庭進出について、どう考えますか？

男性の家庭進出について51%の人が「賛成」、37%の人が「どちらかといえば賛成」と回答し、前項と同じ割合結果となりました。

「共働きであれば、家事は分担すべき」という声が多岐にわたって見受けられました。また「女性の社会進出をさせる身近な支援者である」という、女性の社会進出と男性の家庭進出について問題意識が対等で、同時に解決すべきという認識も見受けられました。



## 家事力と稼ぎ力のバランスをとるには1位「収入の増加」！2位と3位は？

Q4. 夫婦内で「家事力」と「稼ぎ力」のバランスをとるために必要だと思うものを教えてください。(最大3つ可)

1位	収入の増加	62.0%
2位	場所にとらわれず仕事ができる環境	44.7%
3位	子育て支援の強化	42.1%
4位	サービス残業を無くす	30.7%
5位	在宅ワーク	29.7%
6位	短時間勤務制度を利用しやすい環境	23.8%
7位	家事代行サービスの利用	7.9%
8位	職場と自宅の通勤時間を減らすために引っ越す	7.1%
9位	その他	5.9%

共働き世帯が増えている中、夫婦内でバランスをとるために必要だと思うものを聞いたところ、上記の結果となりました。1位「収入の増加」は、問1の結果通り“お金である程度の問題を解決できる”という認識から上位にランクインしていることがわかります。2位「場所にとらわれず仕事ができる環境」では、インターネットの発達により柔軟な働き方が可能となり、実現したいと考える人が多くいることがわかります。3位には「子育て支援の強化」がランクインし、保育園や学童保育の強化や育児休暇制度の取りやすさを求める声が見受けられました。

## 時代の流れと共に“家庭のあり方”が変化。男女共に問題意識を持ち、働き方の改善を

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」を理想としながらも、実際は共働きをしなければ家計が成り立たない今の日本。男女どちらかだけの改善は成り立たず、双方がお互いに問題意識を持つことが第一歩となり、夫婦内でバランスをとりながら働き方を改善していくことが必要であると考えます。

フリーキャリア総研：<http://free-career.com/housework-earn/>

### ■ 株式会社もしも 会社概要

社名：株式会社もしも

本社所在地：東京都新宿区西新宿 3-5-1 新宿セントランドビル 8 階

設立：2004 年 12 月

資本金：5 億 2,550 万円(資本準備金含む)

代表者名：代表取締役 実藤 裕史

もしもは皆様の「もしも～～ができたら」という思いを形にするための事業を運営しています。誰でも簡単にネットショップを運営できる「もしもドロップシッピング」や、小さなネットショップでも大企業に負けない品揃えを実現できる「TopSeller」、ブログなどの個人メディアの価値を最大化して広告収入を得ることができる「もしもアフィリエイト」などの事業を展開しています。<http://www.moshimo.co.jp/>

### 【当プレスリリースに関するお問い合わせ先】

E-Mail:pr@moshimo.com TEL:03-6911-4141 広報担当:小野